



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 マルシェ株式会社

コード番号 7524 URL <http://www.marche.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 加藤 洋嗣

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務

(氏名) 川角 茂樹

TEL 06-6624-8100

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日

平成26年12月11日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	5,197	△9.8	49	△36.3	86	△24.5	101	—
26年3月期第2四半期	5,765	△7.4	77	△65.5	115	△53.4	△1,161	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	12.09	—
26年3月期第2四半期	△138.33	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
27年3月期第2四半期	6,024		3,729		61.9	
26年3月期	6,019		3,660		60.8	

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 3,729百万円 26年3月期 3,660百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
27年3月期	—	5.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	△8.3	200	5.1	230	△7.6	350	—	41.67

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	8,550,400 株	26年3月期	8,550,400 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	151,546 株	26年3月期	151,514 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	8,398,877 株	26年3月期2Q	8,398,886 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビューは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(重要な後発事象)	5
4. 補足情報	6
[参考]業態別出退店の状況	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府主導による経済対策・金融政策の効果により、企業収益や雇用情勢の改善がみられ、国内景気は緩やかな回復基調が続いたものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動や海外景気の下振れ等によって、個人消費や企業収益への影響が懸念され、更なる消費税増税の論議が本格化するなど、先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましても、一部に景気回復の兆しはあるものの、円安の影響による原材料価格やエネルギー価格の上昇や、人材不足による採用難により、依然として厳しい経営環境が続いております。この様な状況のもと、当社では「原点に立ち返ろう」をスローガンに、地域一番店を目指して、「もう一度、来店していただけるお店」の実現に向け、課題に取り組んでまいりました。

既存店対策といたしましては、酔虎伝では伝統ある「鉄板焼きそば」を創業当初の味を復刻版として再現するなど、メニューの変更を中心として酔虎伝のブランド力を高めるよう取り組みました。八剣伝では7月に30周年記念感謝祭を行うとともに、より一層多くのお客様にご来店いただくためにテレビCMを制作全国放映いたしました。居心伝ではアメリカンビーフの中でも最も高いグレードを使用したロースステーキを採用するなど、業態の強みである鉄板カテゴリーの品質向上と内容の充実に取り組みました。

業態開発につきましては、ワイン食堂主体の「バルビダ」を食事需要の高まりが大きな立地においては、気軽に食事ができる場としての「ブラスリーバルビダ」というファミリーのお客様にも利用し易いような業態へ進化させました。

人材不足への対応といたしましては「既存スタッフによる知人紹介」などの我社独自の制度を設けるなど、様々な手法を用いて人材を確保すべく取り組んでおります。

この様な取り組みを行いましたが、速やかな効果の発現とはならず、また、前期からの店舗数の減少と新規出店の遅れ等により、当第2四半期累計期間の売上高は前年同期比9.8%減の51億97百万円となり、営業利益は前年同期比36.3%減の49百万円、経常利益は前年同期比24.5%減の86百万円となりました。四半期純利益は資産売却益の影響もあり1億1百万円(前年同期は11億61百万円の四半期純損失)となりました。

なお、当第2四半期累計期間の業績につきましては、消費税増税の影響が想定より少なかったこと等により売上・利益共に計画通りには推移いたしました。

#### 【当第2四半期の業績の概況】

	前第2四半期 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	対前年同期比	
			増減額	増減率(%)
売上高(百万円)	5,765	5,197	△567	△9.8
営業利益(百万円)	77	49	△28	△36.3
経常利益(百万円)	115	86	△28	△24.5
四半期純利益(百万円)	△1,161	101	1,263	-
1株当たり四半期純利益	△138円33銭	12円9銭	150円42銭	-

### (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

資産、負債、純資産及び自己資本比率の状況は下記の通りとなります。(単位:百万円)

	26年3月期末	当第2四半期末	増減
資 産	6,019	6,024	5
負 債	2,358	2,295	△63
純 資 産	3,660	3,729	69
自己資本比率(%)	60.8	61.9	1.1

当第2四半期会計期間におきましては、土地の売却等により、固定資産が1億円減少したものの、現金及び預金の増加等により、流動資産が1億6百万円増加したため、総資産が前事業年度末に比べ、5百万円増加し、60億24百万円となりました。

負債は、消費税増税による影響で未払消費税等が52百万円増加するものの、店舗数減少に伴う債務の減少等により、前事業年度末に比べ、63百万円減少し、22億95百万円となり、純資産は主に四半期純利益の計上により、前事業年度末に比べ、69百万円増加し、37億29百万円となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月12日に公表いたしました平成27年3月期第2四半期(平成26年4月1日～平成26年9月30日)の業績予想と平成27年3月期通期(平成26年4月1日～平成27年3月31日)の業績予想につきましては、平成26年11月10日付で公表した「平成27年3月期第2四半期の業績予想と決算値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、当初予想を上回る見込みとなりましたので修正を行いました。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,928,582	2,016,301
売掛金	465,714	449,716
商品及び製品	21,773	18,684
原材料及び貯蔵品	50,379	46,112
その他	203,114	245,051
貸倒引当金	△20	△20
流動資産合計	2,669,544	2,775,846
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,329,245	1,282,449
土地	503,889	420,105
その他(純額)	116,821	173,536
有形固定資産合計	1,949,956	1,876,091
無形固定資産		
無形固定資産	95,172	102,877
投資その他の資産		
差入保証金	1,064,197	990,837
その他	259,894	301,155
貸倒引当金	△19,675	△22,182
投資その他の資産合計	1,304,417	1,269,809
固定資産合計	3,349,546	3,248,778
資産合計	6,019,090	6,024,625
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	703,160	689,157
賞与引当金	47,000	75,700
株主優待引当金	18,671	18,432
その他	737,691	675,832
流動負債合計	1,506,523	1,459,121
固定負債		
資産除去債務	175,623	169,126
その他	676,820	667,159
固定負債合計	852,444	836,285
負債合計	2,358,968	2,295,407
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,510,530	1,510,530
資本剰余金	1,619,390	1,619,390
利益剰余金	622,089	681,631
自己株式	△155,439	△155,467
株主資本合計	3,596,569	3,656,083
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	63,552	73,134
評価・換算差額等合計	63,552	73,134
純資産合計	3,660,122	3,729,217
負債純資産合計	6,019,090	6,024,625

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	5,765,084	5,197,865
売上原価	2,326,919	2,196,321
売上総利益	3,438,165	3,001,543
販売費及び一般管理費	3,360,549	2,952,084
営業利益	77,615	49,459
営業外収益		
受取利息	343	1,173
受取配当金	1,399	1,422
受取家賃	5,853	9,511
受取保険金	10,952	139
解約返戻金	2,622	14,602
その他	17,795	14,731
営業外収益合計	38,965	41,581
営業外費用		
支払手数料	364	378
たな卸資産廃棄損	1,072	1,362
貸倒引当金繰入額	—	2,040
その他	91	425
営業外費用合計	1,529	4,206
経常利益	115,051	86,834
特別利益		
固定資産売却益	317	100,884
特別利益合計	317	100,884
特別損失		
固定資産除却損	12,252	18,352
固定資産売却損	64	6,543
減損損失	1,119,148	39,953
賃貸借契約解約損	285	7,371
その他	3,465	1,339
特別損失合計	1,135,215	73,559
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△1,019,846	114,159
法人税等	141,999	12,623
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,161,845	101,535

### (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

#### (継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

#### (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年6月15日開催の第42期定時株主総会に基づき、繰越利益剰余金の欠損補填を目的として、別途積立金1,486,674千円を繰越利益剰余金に振替えました。

なお、これによる株主資本合計金額の変動はありません。

#### (重要な後発事象)

当社は、平成26年10月27日開催の取締役会において、下記のとおり、固定資産の譲渡を決議いたしました。

##### 1. 譲渡の理由

新業態の開発・成長分野への投資等及び研修教育施設の強化による従業員の士気向上等を図るため、下記物件を譲渡することといたしました。

##### 2. 譲渡資産の内容

資産の種類及び所在地	譲渡予定価額	帳簿価額	現況
土地:743.43㎡ 大阪市東成区中本2-13-1	390百万円	196百万円	事務所跡地及び店舗跡地

##### 3. 譲渡先の概要

譲渡の相手先(一般事業法人)に関しましては、譲渡先との守秘義務により開示は控えさせていただきます。なお、譲渡先と当社との間には資本関係、人的関係、取引関係等の利害関係及び関連当事者として記載すべき事項はございません。また、譲渡先は反社会的勢力との関係がないことを確認しております。

##### 4. 譲渡の日程

取締役会決議	平成26年10月27日
譲渡契約締結	平成26年11月13日(予定)
物件引渡期日	平成27年1月30日迄

##### 5. 当該事象の損益に与える影響

平成27年3月期において、固定資産売却益約180百万円の特別利益を計上する見込みであります。

#### 4. 補足情報

[参考]  
業態別出退店の状況

		前事業年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)						当第2四半期 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)					
		期首 店舗数	出店数	退店数	期末店舗数		期首 店舗数	出店数	退店数	期末店舗数			
						増減数					増減数		
直営店	酔 虎 伝	18	1	1	18	0	18	0	3	15	△ 3		
	八 劍 伝	103	6	16	93	△ 10	93	2	19	76	△ 17		
	居 心 伝	41	5	8	38	△ 3	38	0	3	35	△ 3		
	海 心 丸	3	1	0	4	1	4	0	1	3	△ 1		
	串 ま ん	6	0	2	4	△ 2	4	0	0	4	0		
	八 右 衛 門	6	0	0	6	0	6	0	3	3	△ 3		
	バ ル ビ ダ	7	6	3	10	3	10	0	3	7	△ 3		
	そ の 他	2	1	2	1	△ 1	1	2	0	3	2		
小 計		186	20	32	174	△ 12	174	4	32	146	△ 28		
F C 加盟店	酔 虎 伝	23	1	1	23	0	23	1	1	23	0		
	八 劍 伝	365	7	31	341	△ 24	341	14	11	344	3		
	居 心 伝	17	6	1	22	5	22	4	0	26	4		
	そ の 他	19	2	1	20	1	20	4	3	21	1		
小 計		424	16	34	406	△ 18	406	23	15	414	8		
合 計		610	36	66	580	△ 30	580	27	47	560	△ 20		